

目標達成計画

事業所： グループホーム福寿草

作成日： 平成25年9月13日

市町村受理日： 平成25年9月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念はあるが形骸化してしまっている。また各職員において理念が日々のサービスの根幹に置かれていない。	職員誰もが理念そのものや意味、具体的な方向性について周知する。	現在ある理念についてよりコンパクトに、より具体的な内容に変えて行く方向で検討したい。また理念そのものが日々のサービスと連動性が持てるようにしたい。	1年
2	2	町内会等地域との交流の機会がほとんど持っていない。	町内会、その他地域の方々や関係機関へ働きかけ、定期的に交流を持つようにする。	近隣町内会や文化会館等での催しに参加する。事業所へ近隣の方々に来て頂けるような機会を設定する。	1年
3	3	運営推進会議に参加されている家族が少ない。片方のユニットだけと言う事も多い。	毎回の会議に必ず家族の方々に参加頂く事は勿論の事、両ユニットから最低1家族ずつ参加頂くようにする。	毎回の会議で事業側より家族を特定し、ご都合確認の上参加へ結び付けていく。毎回の議事録を送付し、内容について堅苦しいものではない事を理解して頂く。	1年
4	13	飲料水の備蓄は整備したが、停電時の暖房の手段や食料等不十分な点が多い。	緊急時の食料品、停電時に暖を取る事が出来る暖房用品等を備蓄品として用意する。	備蓄用食料品の購入、暖房用具の寄贈依頼(社会福祉協議会等へ確認の上)等。	1年
5		職員の名前について来訪者誰もが認知できるような手段がない。	既存の職員は勿論の事、新入社員等についても認知できるような手段を講じる。	顔写真と名前をプリントした掲示板の様なものを作成する。	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。